

## パネルの下で農業を行う、ソーラーシェアリング事業が増えています！ 牧草栽培・牛飼育×ソーラーシェアリング（気仙沼市）



牧草地の上に設置された太陽光パネル

令和2年5月から、太陽光パネルの下で牧草を育て、牛の飼料として活用しています。

パネルの間隔を広くとることで採光性や作業性を確保するほか、パネルの架台を独立させることで、牧草の生育状況によってはパネルを抜くこともできるようにしています。

隣の牧草地にはパネルを設置せず、パネルの有無による収量の差を調査していますが、大きな差はなく、むしろ、パネルを設置するために行った土地の改良の影響もあり、パネル下では雑草が生えにくく、年3回しっかりと刈り取りができています。



刈り取られた牧草と飼育されている牛

Keyman's  
VOICE

株式会社 パートナーズ  
代表取締役 澤井 仁 さん（写真左）

もともと牧草地だったこの場所の管理を依頼されたことがきっかけとなり取り組みをはじめました。農業は未経験でしたが、農業者である地権者に作業を教わる研修期間を1年間設け、コツをつかんできました。地域密着型で、住宅へのパネル設置やメンテナンスも行っています。ぜひお気軽にご相談ください！



所在地	気仙沼市本吉町猪ノ鼻 215-114
エネ種	太陽光 49.5kW
運営主体	株式会社 パートナーズ（気仙沼市東新城 1-9-12）
連絡先	TEL: 0226-29-6555
見学の可否	可（事前にご連絡ください）

## 耕作放棄地×ソーラーシェアリング（大崎市）



株式会社 Best means と NGA 株式会社では、大崎市内の耕作放棄地約 90 カ所でソーラーシェアリング事業を行っています。太陽光パネルの下では、日陰のほうがより青々とした葉がつくサカキや、日陰でよく育つミョウガ、牧草などの生産を行っています。

耕作放棄地や荒廃農地を農業ができるまでに整備する苦労は大変大きいほか、天災などの苦労もありますが、農作物の生産・販売および営農に携わる雇用の創出を見込むとともに、近年増加している耕作放棄地の有効活用という面で社会問題の解決に有効な事業です。

株式会社 Bestmeans では、パネルの設置も、設置後のメンテナンスを行い、農業は NGA 株式会社で、すべて自分たちで目をかけて行っていることが一番の強みです。



太陽光パネルとその下で生育するサカキの様子

Keyman's  
VOICE

株式会社 Best means・NGA 株式会社  
代表取締役 福地 俊宏 さん

住宅用の太陽光パネル設置などを行う株式会社 Bestmeans を営んでいましたが、生まれは大崎市のコメ農家で、平成 27 年に実家の農家を法人化したのが NGA 株式会社です。

耕作放棄地が増えている現状を知っており、農地を守るためにも何かできないかと思い、この事業に参入しました。

今後は、農作物の製品化や出荷に必要な人材を地域内で雇用することを見込んでいます。



所在地	大崎市内（計 90 カ所）
エネ種・規模	太陽光発電 累計約 4.5MW
運営主体	株式会社 Best means、農業生産法人 NGA 株式会社
連絡先	TEL: 022-352-7312（株式会社 Best means）
見学の可否	可（事前にご連絡ください）